令和4年度　事業計画

１．経営指針

【目的】

令和４年度は昨年度に引き継き、公益財団法人として経営方針、経営モラルをはじめとした方針・計画を策定し日々の業務に取り組むことで、「岡山市内における都市公園等において良好な景観を維持し、市民が快適に利用できるよう運営することにより、公園等機能の増進と、公園文化の創造を推進するとともに都市緑化の普及啓発を行うことをもって、地域社会の健全な発展に寄与すること」を目的として各種事業に取り組みます。

【経営方針】

○施設利用

施設利用において安全で公平な運営とともに、施設利用者のニーズをとらえたサービスの提供により、利用者の満足度を高め利用者の拡大

○社会への貢献

市政への協力、緑化推進事業の振興、啓発を図るとともに、市民団体との連携協働を通じて、公益法人として求められている社会への貢献

○自然教育

市民への情報提供や案内により、自然教育への学習の機会の提供

【経営モラル】

法令や条例の遵守だけでなく、更にリスク回避のための協会内規程、マニュアル、社会への貢献や公正かつ適切な事業活動を行うための自主ルールとして「倫理規程」や事業活動の公正かつ適正な運営に資するための組織及びコンプライアンス施策の実施・運用の原則を定めるため「コンプライアンス規程」を制定し、また、外部講師による定期的な講習会の開催による職員のスキルアップ、会計事務所による管理施設の点検・監査や監事による業務監査を行うことで、高い経営モラルを有した組織と健全な財政運営を目指します。

２．中期経営方針

（１）位置づけ

本中期経営方針は、令和３年度から令和７年度までの指定管理期間における社会情勢や、岡山市の都市ビジョンや都市緑化計画等を踏まえた基本的な方針と協会の目的及び経営方針に基づき、事業の目標をまとめたもの。

（２）５つの基本方針とアクションプラン

（ア）施設利用の拡大

利用者のニーズを把握し価値のあるサービスを提供することで、満足度を高め利用の拡大に努めます。

○利用者ニーズの把握と満足度の向上 ○新規利用者・リピーターの拡大 　→ホームページや広報誌及びメディアの積極的な活用による 　情報提供により、市民に分かりやすく魅力のある情報発信

→半田山植物園でのインスタグラムによる見どころ情報発信の継続に加え、諮問委員会の意見を反映し、ユーチューブによる動画配信を新たに実施することで情報発信の強化を行う
○施設の特色を活かした事業の計画・実施
○誰もが安心して利用できる施設の提供
→安全に配慮した施設・設備の管理運営
→条例・規則に基づく公平・公正な施設予約への対応と全施設
○地域住民・サポーターが安心して利用できる憩いの場所、市民協働による自己実現の場を提供
→地域市民と協働の推進
→公園の特性を活かしたイベント・催物の実施

（イ）自然教育の充実

自然環境の保全や管理運営を通じて都市環境の改善を進めるとともに、ＥＳＤ（ＳＤＧｓ）視点での自然教育、関連事業教育の機会を市民に広く提供します。

○多くの市民が自然環境への興味を持つための環境・教育場所の提供
→産・官・学との連携を含めた
□学校及び地域と連携した職場体験やボランティア活動の実施
□公民館など地域活動施設での緑化講座の実施
□市と連携・協働した緑化活動の実施
○自然と触れ合う貴重な財産である操山公園里山センターや岡山市唯一の博物館相当施設である岡山市半田山植物園を活用した自然環境教育の実施
→半田山諮問委員会委員からの意見を反映した
□団体利用（小学校等）向けのメニューの開発
…来園時に活用。利用できる資料として体験・知見出来るメニューを開発し、教育委員会学校長会で提案
○ＥＳＤ、自然資産の活用を目的とした小中学生対象のクラブ組織の継続による自然関連事業の展開と教育
→里山レンジャーの活性化によるリーダーの育成
立ち上げによる自然関連事業の展開と教育
→里山レンジャー組織の活性化によるリーダーの育成

（ウ）社会への貢献

自然の大切さや岡山市の緑化行政への協力と連携により公益財団法人としての社会への貢献に努めます。

○岡山市や社会への緑化推進、市の施策との協働・連携、植物の保存・調査・研究を通じた貢献
→地域緑化活動の推進強化
□緑化推進団体の育成と活動支援
□市の緑化計画への協力

→市の施策との連携強化
□都市ビジョン及び岡山市の進める施策の実施への連携と協力強化
□施設運営への連携
□適切な維持管理と計画的な修繕への協力による施設・設備の長寿命化
○就労支援
「岡山の就労応援団」に登録し、卒業後企業での就労による社会自立を目指す特別支援学校の職業教育・就労支援を継続的に実施する。
○障害者就労施設等からの物品等の調達
平成２５年４月１日からの「障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律の施行」に伴い、障がい者福祉施設・Ｂ型事業所からの花苗の物品購入・トイレ清掃等の作業委託や、協会主催イベントでの施設の特色を生かした企画の実施、物品販売機会の提供等に加え、小型プリンタのレンタル使用、障がい者レンタルアートの展示場所提供等、新たな支援に積極的に取り組んでいく。
また、平成２９年１月には、岡山県から「アイサポート団体」として認定を受けており、様々な障害の特性を理解し誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現をめざす運動に取り組む。

（エ）健全な財政
施設利用の拡大による収入増加と効果的かつ効率的な事業運営により健全な財政運営を目指します。

○収支バランスを意識した運営（収入増加と支出の抑制）
→各種事業の収入増加策の検討
□魅力的な自主事業メニューの提供による利用者の増加・拡大
□利用者にやさしい運営管理によるサービスの充実
→効率的な事業実施による支出の抑制
□統合システム・ポスシステム・室内施設予約システムの導入による業務の効率化
□スケールメリットを活かした発注・購入
□合理的な委託・修繕業務の実施
→固定資産の計画的取得
□公用車のリース化（公用車買換え時のコスト平準化）
□中期計画に基づく固定資産の購入（減価償却費の平準化）

（オ）経営モラルの遵守
経営モラルを遵守し、校正かつ適切な事業活動に資するため適切な組織運営に努めます。

○「法令」、「社内規範」、「社会規範」、「企業倫理」をはじめとしたコンプライアンスの維持・改善に向けた社内外研修の実施・参加
○コンプライアンスの強化に繋がるガバナンス（管理体制）の強化

（３）経営計画

５か年計画を基本に年度計画を設定することで取り組み目標を明確にする

（ア）業績

一般正味財産増減計画書及び収支計算書（キャッシュフロー）の当期収支差額の改善

→公益財団法人は、「正味財産増減計算書」が事業ベースであり、安定経営に向け､収益事業における当期一般正味財産増減額内を上限とした公益事業の運営に取り組む。

（イ）緑化推進活動

岡山市の都市ビジョンの実現に向けた事業として、指定管理者として実施する四季を感じることができる草花の演出をはじめとした「自主事業・教室事業」については、令和３年４月より立ち上げた緑化推進課の専門チームによる、緑化４施設（岡山市半田山植物園・百花プラザ・操山公園里山センター・緑化推進課）の緑化関連事業の効率的・効果的な実施や内容の見直しに加え、多くの市民に興味をもっていただける新たな事業を計画・実施していく。

また、結婚・誕生記念樹配布事業をはじめとした「利益還元事業」や、緑化基金助成事業である「住まいの緑化奨励事業」等、公園協会 の重点事業としてより多くの市民が興味を持ち、また、参加頂ける事業を実施することで岡山市における公園協会の存在意義をアピールすると同時に、事業内容の見直し等を常に行うことで、受益対象者の拡大に取り組む。なお、岡山市が「緑の基本計画」により実施する緑化事業・イベント等へは積極的な参画を継続し、緑化行政への貢献度を高めるが、緑化推進事業原資は、緑化基金運用益及び指定管理施設における利用料金収入であることから、運用益・利用料金収入額に見合った事業規模・内容の見直しも継続的に実施する。

（ウ）組織編成・要員体制

施設運営・事業運営は、システム化の推進による事務処理の合理化に継続的に取り組むとともに、業務の繁閑、立地場所等を前提・考慮した効果的・効率的かつ柔軟性のある組織体制とすることで総員の抑制を図る。

（エ）人事制度改革

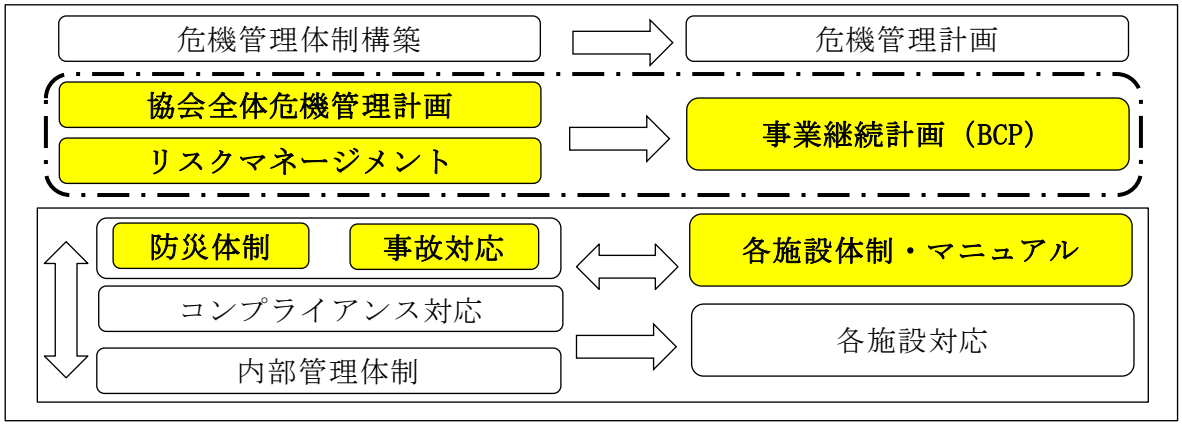
同一賃金・同一労働の視点での職群間の待遇格差、役割に応じた処遇等の人事制度見直しをはじめ、次世代を担う職員の採用・育成を可能とする給料体系変更等の人事制度改正に継続的に取り組むとともに、平成２４年度よりスタートした「人事評価制度」を活用した適正な評価による職員の処遇に繋げていく。

また、労働契約法等の法改正については、情報収集に努めることで遺漏のない対応に繋げていくが、定年延長については、令和３年度からの第二次人事制度改正の中で６５歳定年制を導入しており、年齢６０歳に達した年度の翌年に職群異動基準に基づく再配置を行うことで、人件費総額を抑制する。

（オ）危機管理（ＢＣＰ）計画

日頃から緊急時対応に備えるとともに、パンデミックを含む緊急時の対応ルール・継続的な事業の展開に繋がるＢＣＰ計画を策定し、事件・事故や災害が発生した場合には、利用者及び地域住民の安全確保を第一に、岡山市、関係機関と連携・協議し、適切かつ速やかに対応、加えて、緊急時に継続して施設の開館・開園が出来る

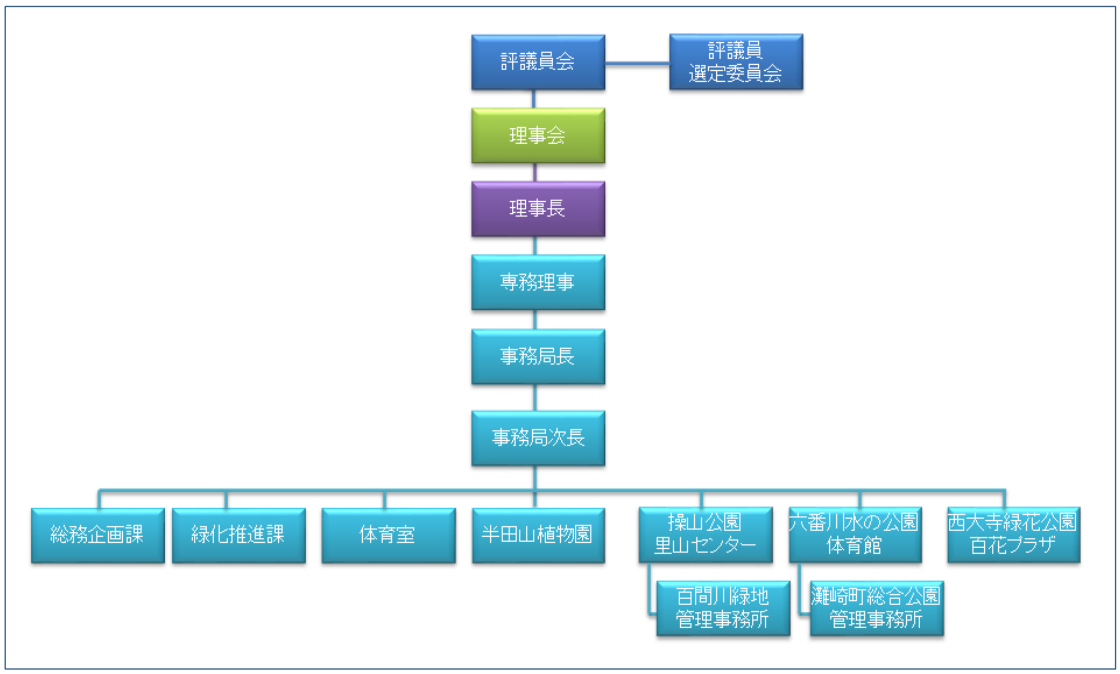
よう、職員の他施設職員の応援体制を策定する。
また、全国的に自然災害が増加している中、令和元年１１月に岡山市と「災害時における避難場所の開設運営に関する協定」を締結、また、令和３年４月から「百間川の工作物流出による被害防止のための緊急業務に関する協定書」を締結しており、大規模災害発生時に遺漏の無い対応が図れるよう、年１回の図上防災訓練や危険予知情報の共有化や朝礼・夕礼を通じたＫＹＴ（危険予知トレーニング）を実施することで、緊急時における対応スキルの向上を図り、地域住民の安全確保や岡山市からの要請にスムースに対応出来る体制に繋げる。



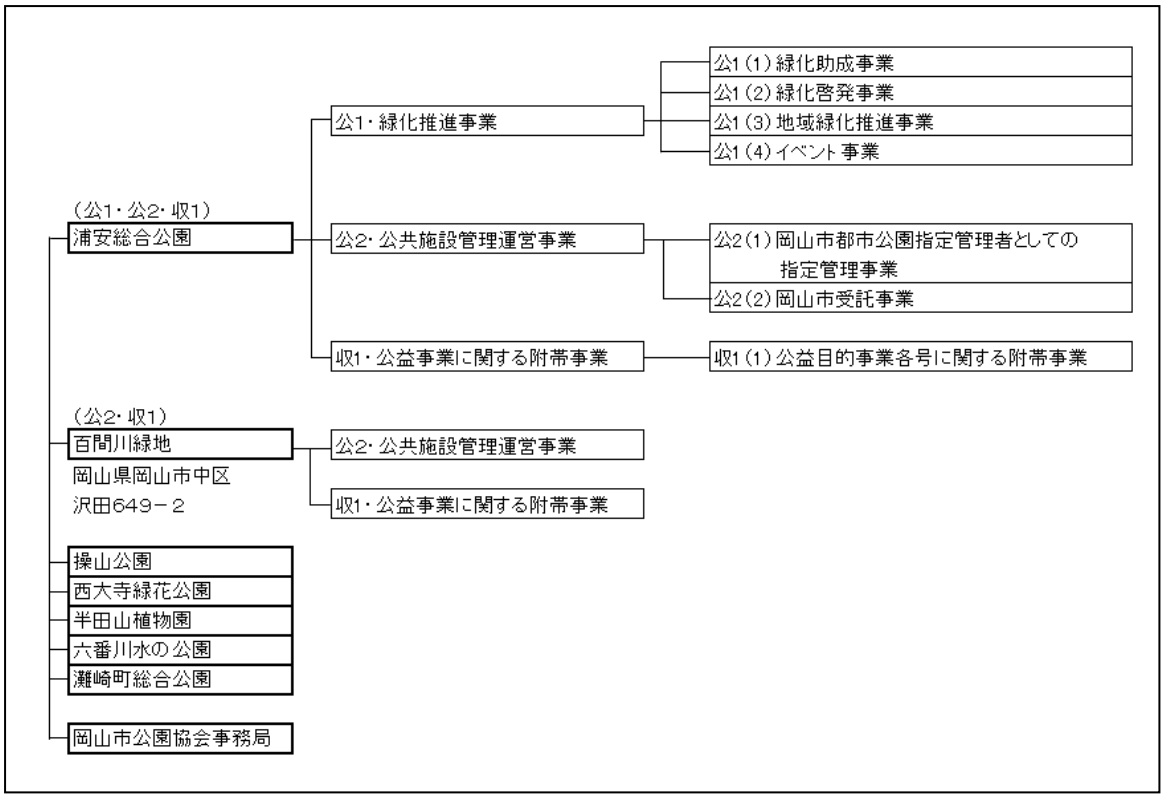
（カ）施設管理運営方針
施設管理運営の基本方針である「～すべての世代、多様なニーズに応える～」の達成に向け、「財務」、「施設管理・事業執行」、「利用者」、「職員管理教育」の４つの視点で、「現状分析」、「課題抽出」、「仮説立案」を行い、施設・課の管理運営方針を策定し、日々の管理・運営業務に取り組む。
また、ルールに基づく施設の定期点検を励行し、安心・安全な施設の管理・運営に繋げる。

３．組織図・組織体系図

○組織図



○組織図体系図



［令和４年度　利用者目標］

新型コロナウイルス感染状況を考慮せず、令和3年度の当初目標を継続。

施設利用者	利用者目標(人)
浦安総合公園（東地区）	240,000
浦安総合公園（西地区）	460,000
灘崎町総合公園	96,000
半田山植物園	61,000
六番川水の公園	96,000
操山公園里山センター	53,000
百間川緑地管理事務所	194,000
西大寺緑花公園	360,000
小　計	1,560,000
駐車場利用台数	利用台数目標(台)
半田山植物園駐車場	20,000
浦安総合公園駐車場（東）	308,000
浦安総合公園駐車場(西)	154,000
小　計	482,000

４．事業方針

（１）公益目的事業

ア 公１事業

（都市緑化事業基金の造成、管理及び運用による都市緑化助成や普及・啓発を通じた緑化推進）

○緑化助成事業や結婚・誕生記念樹配布事業など公園協会の重点事業として、また多くの市民が興味を持ち、また参加いただける事業を実施することで岡山市における公園協会の存在意義をアピールすると同時に、事業内容の見直し等を常に行うことで、受益対象者の拡大に取り組みます。

○岡山市が「緑の基本計画」により実施する緑化事業・イベント等へは積極的な参画を継続し、緑化行政への貢献度を高めながら、緑化推進事業の原資である運用益・利用料金収入額に見合った事業規模・内容の見直しを実施します。

①事業体系

名称			
1	緑化助成事業	3	地域緑化推進事業
	ア 住まいの緑化奨励事業		ア 緑化推進リーダー育成
	イ 緑化推進団体支援事業		イ 緑化ボランティアグループ支援
	ウ 「街かどの緑」保護管理奨励事業		ウ 花とみどりの講師育成事業
	エ 草花等配布事業		エ グリーンバンク事業
	オ 市民協働花壇づくり		
2	緑化啓発事業	4	イベント事業
	ア 教室事業		ア 花と緑のコンクール
	(1) 花とみどりの楽校事業		イ 啓発イベント
	(2) 親子ガーデニング教室		
	(3) 市民公民館講座		
	(4) みどりの講師派遣事業		
	(5) 花とみどりの福祉事業		
	イ 記念・配布事業		
	(1) 結婚・誕生記念樹配布事業		
	(2) 小学校入学祝種子		
	(3) 小中学校卒業記念植樹		

②緑化事業

（ア）緑化助成事業 民有地の緑化を推進し、緑化意識の高揚を図ることを目的として、市内各所への募金箱の設置や緑化フェア等のイベントを通じ緑化基金の造成を行い、その基金で民有地緑化及び民間団体による各種緑化活動に対し支援・助成する。	
住まいの緑化奨励事業	住宅地・事業所用地で市道等公道に面する部分の生垣の新設や都市部におけるヒートアイランド現象の緩和を図るため、建築物の屋上や壁面、敷地内の低木・地被類などの緑化を対象とし助成。
緑化推進団体支援事業	町内会、婦人会等の団体が行う花壇・プランターづくりの奨励。 ※緑化推進団体支援事業は、令和５年度からの市民協働花壇づくり事業への移行を前提に対応。次年度からの公１事業体系変更を行政庁へ届出予定。
「街かどの緑」保護管理奨励事業	町内会、婦人会等が行う街路樹の灌水・除草、清掃等の活動の助成。
草花等配布事業 （花いっぱい運動協賛事業）	四季を通して花のあふれる街づくりを促進するため、岡山市において草花等を広く市民に無料配布しようとする団体に、当該活動を支援する草花を交付する。
市民協働花壇づくり事業	市内の公民館等の施設、休耕田等の遊休ｽﾍﾟｰｽで地域団体と協働した緑化活動を行い、花壇化･花畑化を推進する。

事　　業　　名	目標件数	予算額（円）
ア　住まいの緑化奨励事業	２０	1,000,000
イ　緑化推進団体支援事業	1	100,000
ウ　「街かどの緑」保護管理奨励事業	2	78,000
エ　草花及び草花種子の配布	5	80,000
オ　市民協働花壇づくり事業	9	270,000
合　　計	３８	1,528,000

（イ）緑化啓発事業 緑化事業に対する関心・興味をもってもらうことを目的として、緑に対する関心を高めるための講習会・教室、緑あふれる街づくりを推進する結婚・誕生の記念樹配布等の取り組みを実施する。 また、引き続き町内会・老人会等へのチラシ配布や小中学校長会での事業説明等を実施し、事業の拡大・活性化を図る。	
教室開催事業	緑に対する関心をより一層高めるとともに、自然に興味をもってもらうことのきっかけづくりとして、講習会・教室を開催する。 また、新たに緑化推進リーダー及びボランティアの中から緑化４施設長の推薦で講師や講師補助を行う「認定講師」制度を設け、多岐にわたるニーズへの対応を図る。

	花とみどりの楽校事業	幼稚園・保育園・小学校等を対象に花植え・寄せ植え・種蒔き等を体験する教室を開催する。
	花とみどりの福祉事業	福祉施設を対象に花植え・寄せ植え・種蒔き等を体験する教室を開催する。
	市民公民館講座	公民館で子どもからお年寄りまで広く一般市民が参加し、座学・花植え・寄せ植え・種蒔き等を体験する。
	みどりの講師派遣事業	町内会・婦人会等の団体からの依頼により、緑化に関する専門知識を有した協会職員を講師として派遣する。
記念・配布事業		
	結婚・誕生記念樹配布事業	市民の結婚及び誕生に際し、記念苗木を交付することで、市民の緑化意識の高揚及び緑化の推進を図る。
	小学校入学祝種子配布事業	小学校入学を記念し花の種とともに半田山植物園無料入園券を交付し、植物とのふれあいを通じて緑化への関心を高め、緑化の推進を図る。
	小中学校卒業記念植樹事業	小学校・中学校の卒業記念として樹木を交付し、緑化への関心を高めるとともに緑化の推進を図る。

事　　業　　名		目標件数	予算額（円）
教室開催事業			
	花とみどりの楽校事業	２０	694,000
	花とみどりの福祉事業	２０	694,000
	市民公民館講座	２０	292,000
記念・配布事業			
	結婚・誕生記念樹配布事業	2,700本	2,338,000
	小学校入学祝種子配布事業	市内小学校全校　7,000人	621,000
	小中学校卒業記念植樹事業	１０	200,000
合　　計			4,839,000

（ウ）地域緑化推進事業

緑あふれる街づくりを推進することを目的として、地域の緑化を担う緑化推進リーダーの養成・フォローアップ研修、地域で活動する緑化推進リーダーの支援、緑化関連事業拡充のための講師育成及び緑の資源を有効活用するグリーンバンク事業を実施する。

緑化推進リーダー育成事業	市民の自主的な緑化活動による緑・花にあふれた街づくりを実現するため、その活動の中心的な役割を担う緑化推進リーダーを養成する。
緑化ボランティアグループ支援事業	市内各地域において地域のボランティアグループが自ら取り組む緑化活動に対し、その活動を支援するために必要な物品を支給する。
花とみどりの講師育成事業	花や緑の魅力をより多くの市民に伝え、岡山市の緑化推進に寄与することを目的に、当協会が実施する緑化関連事業に講師または講師補助として参加する花とみどりの講師を育成する。

グリーンバンク事業	岡山市関連イベントでの花木の公開斡旋、引越や増改築、庭の造り替え等で不要になった樹木や草花の情報を集め、樹木等を必要としている市民の方々へそれらの情報を紹介する。
（エ）イベント事業 都市緑化の推進に寄与することを目的とし、岡山市が行う花いっぱい運動期間及び緑化月間の協力・協賛事業として、緑化・美化功労者及び緑化に関する各種コンクール入賞者の表彰、各種イベントでの緑化相談・植栽等の取り組みを実施する。	
花と緑のコンクール	家庭や地域、学校における花づくりや生垣・屋上・壁面緑化の活動を通じて、美しい景観、良好な環境形成に寄与している個人・団体を募集し顕彰する。 また、岡山市役所１階で、民有地緑化イベントパネル展を開催すると同時に、協会事業や管理施設を紹介する。
啓発イベント	岡山市緑化推進フェアをはじめ、岡山市が主催する各種イベントに参加し、寄せ植え展示、緑化関連啓発イベント等を開催する。

イ　公２事業

（指定管理制度等による公共施設の管理及び運営等に関する事業）

○指定管理制度等による公共施設の管理及び運営等に関する事業として、令和４年度もこれまでに蓄積した施設管理のノウハウを発揮するとともに市と連携を深め、業務の内容、形態に見合った効率的な人員配置をするため、適切な管理体制の整備により施設利用者の安全で公平なサービスの実現を図ります。

○収入については、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない中、利用料及び駐車場収入の減少等、業績面での厳しさが想定されるため、感染対策を徹底しながら各施設の利用促進に向けたサービス・ＰＲ活動を積極的に行うほか、来場者の満足度を高めるメニュー等により、少しでも多くの方に利用していただけるよう努めます。

○各施設の自主事業・イベント等については、ＥＳＤ（ＳＤＧｓ）視点での自然教育の機会を提供するとともに、令和３年度より立ち上げた緑化推進課の専門チームによる緑化４施設事業の本格始動により、効率的・効果的な実施を図ります。

○支出については、事務用品・消耗資材等の購入にあたり、必要数を把握し無駄のない在庫の管理方法を工夫するほか、園地管理の芝刈り・剪定・施肥等は可能な限り協会職員で行うほか、各施設の機械保守点検等業務委託について、長期契約が可能なものは指定管理期間に合わせた４年間の契約として入札を実施するなど、効率的、適切な管理を行うとともに、環境を意識したリサイクル、花苗の栽培などにより一層の経費の縮減を行います。

○障害者就労支援等施設からの花苗等の購入等に引き続き積極的に取り組むとともに、小型プリンタのレンタル使用、障がい者レンタルアートの展示場所提供等、新たな支援に積極的に取り組みます。

○指定管理施設を拠点とした緑化事業の推進を図るとともに、公園の円滑な運営及び健全な利用促進により、市民の公園や緑地に対する愛護精神の普及及び緑化推進啓発に寄与します。

○コンプライアンスについては、引き続き研修等による職員のスキルアップを図り、厳格な管理に取り組むとともに、情報の適正な管理に努めます。

<table>
<tr><td colspan="3">①指定管理事業
市民サービスの向上、安全・安心して利用できる公園の確保や利用者に満足いただける管理を目的とする。
浦安総合公園他６公園</td></tr>
<tr><td></td><td>浦安総合公園管理運営
半田山植物園管理運営
操山公園管理運営
六番川水の公園管理運営
百間川緑地管理運営
西大寺緑花公園管理運営
灘崎町総合公園管理運営</td><td>施設の管理運営にあたっては、地方自治法、都市公園法及び岡山市公園条例及びその規則等を順守し、市民サービスの向上、安全・安心して利用できる公園の確保や来園者（利用者）に満足いただける管理や市民の健康増進に繋がる適切な管理に努め、利用者の増加を図る。
また、岡山市指定管理業務の中で実施する緑化推進関連事業は、これまで培ってきた実績をベースに、さらなる内容の精査を行い市民ニーズ・緑のリサイクルを意識した内容へ移行する。
また、市民配布用・緑化推進リーダー支援用・園内花壇用等、様々な用途で活用する花苗を協会で栽培するほか、障害者就労支援等については、岡山県から「アイサポート認定団体」として認定を受け、物品の積極的調達に加え、協会が主催するイベントへの出店等の支援を拡大する。</td></tr>
</table>

②施設別管理運営方針

＜施設管理運営の基本方針＞

～すべての世代、多様なニーズに応える～

○管理運営するにあたり、「基本は安心、安全から」をモットーに利用者に対して安心安全を常に提供する

○多様化する市民ニーズに応えられるよう創意工夫を行うことで、質の高いサービスの提供に努め、利用者へのサービス向上を図る

＜各施設方針＞

基本方針を基に、令和４年４月に施設状況・環境変化等の視点で作成

［ご参考　令和３年度分　浦安総合西地区］

○都市緑化に関する推進事業の拠点施設

○利用者の全てが安心して過ごせる空間の創出

○地域住民や行政機関との連携並びに園内施設の整備･活用による円滑な公園管理運営

○各種イベントへの参加･支援による地域活性化への寄与

○植物に関する情報発信、啓発活動拠点

③令和４年度　自主事業計画

◇緑化専門チームによる緑化４施設横軸事業

実施施設	計	区分	月日	曜	行　事　名	定員
西公園	11	C	5月24日	火	草花のタネまき	15
		B	6月20日	月	公園の植物みてあるき	15
		C	6月21日	火	草花の用土・肥料・鉢	15
		C	7月5日	火	観葉植物のミニ寄せ植え	12
		C	8月23日	火	カラーサンドで 楽しむ観葉植物	12
		C	10月25日	火	庭木の剪定	15
		B	11月21日	月	公園の植物みてあるき	15
		C	12月6日	火	楽しいクリスマス寄せ植え	12
		B	1月16日	月	公園の植物みてあるき	15
		C	2月14日	火	早春の寄せ植え	15
		B	3月20日	月	公園の植物みてあるき	15
里山	5	B	7月18日	月	里山レンジャー めざせ生き物博士！	
		C	12月7日	水	楽しいクリスマス寄せ植え	12
		C	6月23日	木	草花の用土・肥料・鉢	15
		C	8月24日	水	カラーサンドで 楽しむ観葉植物	12
		C	2月16日	木	早春の寄せ植え	15
百花	11	B	4月16日	土	公園の植物みてあるき	15
		C	5月26日	木	草花のタネまき	15
		B	6月18日	土	公園の植物みてあるき	15
		C	6月24日	金	草花の用土・肥料・鉢	15
		C	7月6日	水	観葉植物のミニ寄せ植え	12
		C	8月25日	木	カラーサンドで 楽しむ観葉植物	12
		C	10月27日	木	庭木の剪定	15
		B	11月19日	土	公園の植物みてあるき	15
		C	12月13日	火	楽しいクリスマス寄せ植え	12
		C	2月17日	金	早春の寄せ植え	15
		B	2月18日	土	公園の植物みてあるき	15

実施施設	計	区分	月日	曜	行　事　名	定員
半田山	23	B	4月14日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	4月		半田山自然塾 半田山のさくら	20
		B	5月12日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	5月27日	金	ハーブ入門	15
		B	6月9日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	6月25日	土	子ども自然教室 食虫植物をそだてよう	30
		B	6月25日	土	食虫植物の観察	15
		B	7月14日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	8月11日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	8月27日	土	子ども自然教室 ≪超≫葉っぱのかんさつ	30
		B	9月8日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	9月		スイレンの管理と観察	15
		B	9月21日	水	秋の七草観察	15
		B	10月13日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	11月10日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	11月26日	土	半田山 もみじの観察	20
		B	12月8日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	1月12日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	1月26日	木	竹と笹の観察会	15
		B	2月9日	木	四季と自然を楽しむ会	40
		B	2月25日	土	子ども自然教室 冬の木のかんさつ	30
		B	2月		半田山自然塾	40
		B	3月9日	木	四季と自然を楽しむ会	40

計	50

区分別実施計画数

区　分	R4 実施計画数	R3 実施計画数
Ａ.緑化関連事業（公１）	0	0
Ｂ.施設の特色を活かした事業	32	21
Ｃ.職員スキルを活用した事業	18	8
Ｄ.外部講師一任事業	0	1
Ｅ.施設外事業（公１を除く）	0	0
計	50	30

施設別事業計画数

施設名	R4年 実施計画数	R3年 実施計画数
浦安西公園	11	4
里山センター	5	1
百花プラザ	11	7
半田山植物園	23	18
計	50	30

令和4年度　浦安西公園　行事・講座一覧									
区分	月日	曜	行　事　名	定員	区分	月日	曜	行　事　名	定員
D	5月25日	水	はじめてのハンギングバスケット	10	B	10月		興陽高校生と花植え	
D	6月11日	土	人気の苔テラリウムをつくろう	15	A	11月19日	土	葉っぱで遊ぼう！in浦安西公園	40
D	6月15日	水	はじめての観葉植物の寄せ植えづくり	10	C	11月30日	水	クリスマスリースづくり	15
B	6月		浦安幼稚園児とラベンダー摘み		C	12月10日	土	親子で楽しむクリスマス寄せ植え	7
B	6月		興陽高校生と花植え		C	12月14日	水	ドライフラワーで作る洋風しめ縄リース	15
A	8月		ウェルポートまつり	40	C	12月14日	水	しめ縄リースづくり	15
E	8月		キッズタウンSYUJITU		B	12月		興陽高校生と花植え	
E	10月1日		緑のハイキング		C	1月		はじめてのバラの育て方	15
E	10月1日		寄せ植え講習会(緑のハイキング)		D	2月		手づくりウェルカムボード	15
C	10月		おしゃれに飾る秋の寄せ植え	15					

計	19

区分別実施計画数

区　分	Ｒ４ 施設実施 計画数	Ｒ３ 施設実施 計画数
Ａ.緑化関連事業（公１）	2	2
Ｂ.施設の特色を活かした事業	4	5
Ｃ.職員スキルを活用した事業	6	11
Ｄ.外部講師一任事業	4	3
Ｅ.施設外事業（公１を除く）	3	2
計	19	23

※緑化チーム横軸事業実施計画数　１１件

令和4年度　半田山植物園　行事・講座一覧									
区分	月日	曜	行　事　名	定員	区分	月日	曜	行　事　名	定員
B	3/26～4/18		半田山のサクラ展		B	11月3日	木祝	秋の花まつり	
B	～4月上旬		桜まつり		B	11/19～12/4		半田山のもみじ展	
B	5月4,5日	水木祝	春の花まつり		B	1/28～2/12	金	みんなの写真展	
B	8/26～9/4		植物展（名称未定）		B	3月上旬		岡山の絶滅危惧植物展	
B	9/2～9/4		ナイトガーデン						

計	9

区分別実施計画数

区　分	Ｒ４ 施設実施 計画数	Ｒ３ 施設実施 計画数
Ａ.緑化関連事業（公１）	0	0
Ｂ.施設の特色を活かした事業	9	22
Ｃ.職員スキルを活用した事業	0	7
Ｄ.外部講師一任事業	0	2
Ｅ.施設外事業（公１を除く）	0	0
計	9	31

※緑化チーム横軸事業実施計画数　２３件

令和4年度　百花プラザ　行事・講座一覧

区分	月日	曜	行　事　名	定員	区分	月日	曜	行　事　名	定員
D	7月17日	日	夜のこども昆虫教室	20	C	12月18日	日	お正月の簡単！お飾りづくり	15
D	7月23日	土	夏休み学習教室　午前	30	D	12月24日	土	冬休み学習教室　午前	30
D	7月23日	土	夏休み学習教室　午後	30	D	12月24日	土	冬休み学習教室　午後	30
D	7月23日	土	星座早見傘をつくろう	15	B	12月		ガーデンイルミネーション IN2022	
C	8月6日	土	押し花の小物づくり	15	D	1月8日	日	冬の星空教室	20
D	9月4日	日	花とあそぼう（生け花）	15	B	1月13日	金	とんど焼き	90
B	9月	日	秋のおたのしみまつり		D	1月21日	土	バードウォッチング	20
D	10月1日	土	秋の星空教室	20	D	1月		お天気実験教室	15
E	10月		プランターへの植え付け（12・13）		D	3月5日	日	家庭で育てる果樹入門	20
C	11月27日	日	クリスマスを彩るリースづくり	15					

計	19

区分別実施計画数

区　分	Ｒ４ 施設実施 計画数	Ｒ３ 施設実施 計画数
Ａ.緑化関連事業（公１）	0	0
Ｂ.施設の特色を活かした事業	3	9
Ｃ.職員スキルを活用した事業	3	9
Ｄ.外部講師一任事業	12	12
Ｅ.施設外事業（公１を除く）	1	2
計	19	32

※緑化チーム横軸事業実施計画数　１１件

令和４年度　灘崎町総合公園　行事・講座一覧

区分	月日	曜	行　事　名	定員	区分	月日	曜	行　事　名	定員
C	8月下旬		夏の講座　ペットボトルで作ろう！夏の爽やかハンギングバスケット寄せ植え	20	C	3月下旬		春の講座　ハッピーカラーで作る春の寄せ植え	20
C	12月下旬		冬の講座　素敵なデコレーションしめ縄かざり	20				（各講座　10名×2回）	

計	3

区　分	Ｒ４ 施設実施 計画数	Ｒ３ 施設実施 計画数
Ｃ.職員スキルを活用した事業	3	3
計	3	3

令和４年度　操山公園里山センター　行事・講座一覧

区分	月日	曜	行　事　名	定員	区分	月日	曜	行　事　名	定員
B	4月7日	木	楽しく里山の自然発見	15	B	9月4日	日	**めざせ防災博士！（産官学事業）**	なし
B	4月9日	土	自然遊びをしよう森のようちえん	15	B	9月17日	土	ノルディックウォーク（初級コース）	10
B	4月10日	日	森林音楽セラピー	12	B	9月18日	日	トンボ（昆虫）観察会	15
B	4月16日	土	ノルディックウォーク（初級コース）	10	B	9月29日	木	楽しく里山の自然発見	15
B	4月17日	日	四季のネイチャーゲーム	15	B	10月2日	日	糸つむぎ	15
B	4月22日	金	里山のバードウォッチング	15	B	10月8日	土	ノルディックウォーク（中級コース）	10
B	4月23日	土	竹を使って楽しもう	10	B	10月10日	月	操山のキノコ観察会	15
B	4月29日	金・祝	**里山レンジャー交流会（産官学事業）**	なし	B	10月15日	土	四季のネイチャーゲーム	15
B	5月5日	木・祝	楽しく里山の自然発見	15	B	10月16日	日	さつまいもを育てよう②（２回シリーズ）	20
B	5月7日	土	竹を使って楽しもう	10	B	10月23日	日	トンボ（昆虫）観察会	15
B	5月8日	日	さつまいもを育てよう①（２回シリーズ）	20	B	10月27日	木	楽しく里山の自然発見	15
B	5月14日	土	ノルディックウォーク（中級コース）	10	B	11月3日	木・祝	四季の森の音楽会	15
B	5月15日	日	森林音楽セラピー	12	B	11月12日	土	ノルディックウォーク（中級コース）	10
B	5月22日	日	里山クラフトデイ	15	B	11月19日	土	自然遊びをしよう森のようちえん	15
B	5月27日	金	里山の森林観察会	10	B	11月24日	木	楽しく里山の自然発見	15
B	5月29日	日	トンボ（昆虫）観察会	15	B	11月25日	金	里山のバードウォッチング	15
B	6月2日	木	楽しく里山の自然発見	15	B	11月27日	日	里山クラフトデイ	15
B	6月4日	土	もやい結びを覚えよう！	10	B	12月3日	土	里山の森林観察会	10
B	6月11日	土	ノルディックウォーク（初級コース）	10	B	12月10日	土	操山のキノコ観察会	15
B	6月19日	日	森林音楽セラピー	12	B	12月25日	日	四季の森の音楽会	15
B	6月26日	日	トンボ（昆虫）観察会	15	B	1月15日	日	里山クラフトデイ	15
B	7月9日	土	操山のキノコ観察会	15	B	1月29日	日	もやい結びを覚えよう！	10
B	7月17日	日	粘菌・冬虫夏草の世界にようこそ！	15	B	2月10日	金	里山のバードウォッチング	15
B	7月18日	月・祝	**めざせ生き物博士！（産官学事業）**	20	B	2月11日	土・祝	四季のネイチャーゲーム	15
B	7月24日	日	トンボ（昆虫）観察会	15	B	2月19日	日	お花炭をつくって楽しもう	10
B	7月31日	日	藍の葉のタタキ染め	12	B	2月25日	土	ノルディックウォーク（初級コース）	10
B	8月7日	日	里山クラフトデイ	15	B	2月26日	日	**柴刈体験（産官学事業）**	20
B	8月21日	日	藍の葉のタタキ染め	12	B	3月5日	日	里山クラフトデイ	15
B	8月28日	土	四季のネイチャーゲーム	15	B	3月19日	日	お花炭をつくって楽しもう	10

計	58

区分別実施計画数

区分	Ｒ４ 施設実施 計画数	Ｒ３ 施設実施 計画数
Ａ.緑化関連事業（公１）	0	0
Ｂ.施設の特色を活かした事業	58	67
Ｃ.職員スキルを活用した事業	0	0
Ｄ.外部講師一任事業	0	0
Ｅ.施設外事業（公１を除く）	0	0
計	58	67

※緑化チーム横軸事業実施計画数　５件

（２）　収益事業

○協会の事業を安定的に推進するためにも、自主財源の確保が不可欠であり、スポーツ用品の販売、植物の販売等の実施のほか、スポーツ教室については市民のニーズを捉えた企画に変更するなど、一層の収入増を図り、収益事業から生まれた利益を公益事業に還元することにより、利用者へのサービスの向上や岡山市の緑化推進事業に寄与することが可能なバランスのとれた運営を目指します。

○令和３年度からの山田グリーンパーク指定管理者移管に伴う職員２名の出向については、令和３年度をもって終了。

ア　スポーツ教室等開催事業	
総合文化体育館 一般開放事業（バドミントン、卓球） スポーツ教室 若草クラブ バレーボール エンジョイスポーツ 楽しむダンスエクスサイズ 太極拳 ミニバレーボール のんびりヨガ ベーシックヨガ 弓道（昼・夜）	市民の健康維持・余暇の活用、市民交流を図る ※令和４年度より ［新規］ベーシックヨガ ［廃止］いきいきｴｱﾛﾋﾞｸｽ・楽しむﾀﾞﾝｽｴｸｻｻｲｽﾞ
夏季小学生バレーボール教室 夏季小学生ﾐﾆﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ教室	主にﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ経験者、ﾐﾆﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ経験者を対象にそれぞれ岡山シーガルズ、トライフープの選手によるスポーツ教室を実施。トップレベルの技術を体験する機会を提供し、スポーツ教室を活性化により総合文化体育館の魅力作りに貢献する
浦安総合公園テニスコート テニス教室 夏季小学生ソフトテニス教室	市民の健康維持・余暇の活用、市民交流を図る
六番川水の公園体育館 一般開放事業（バドミントン、卓球）	市民の健康維持・余暇の活用、市民交流を図る

イ　公衆電話管理事業	
浦安総合公園 六番川水の公園体育館	施設利用者の利便を図るため （設置台数　計２台）
ウ　自動販売機物品販売事業	
浦安総合公園 六番川水の公園体育館 半田山植物園 操山公園里山センター 御南公園 灘崎町総合公園 西大寺緑花公園	施設利用者の利便を図るため （設置台数３８台）
エ　物品販売等事業	
総合文化体育館・浦安テニスコート 浦安総合公園西地区 半田山植物園 操山公園里山センター 六番川水の公園体育館 百間川緑地 灘崎町総合公園	施設利用者の利便を図るため

（３）法人会計

ア　内部管理

内容	目的
インボイス対応	令和５年１０月１日より導入されるインボイス制度に先んじ、令和４年度中に請求書・領収書にインボイス番号の表示を実施
委託契約等の長期契約化	各施設の機械保守点検等の業務委託について、原則として４年間の長期契約とし、年度経費の平準化を図るとともに、入札事務の合理化を図る
年間見積による物品購入	年間を通じて継続的に購入する物品については、単価見積りにすることにより事務の簡素化を図る（システムにより対応）
コンプライアンスの遵守	年間を通じた監事による業務監査により厳正な管理を図るほか、関係法令等の法改正に合わせ、適切な対応を行う
ハラスメント対応	令和４年４月からのパワハラ防止法の中小企業への施行に合わせ、協会としての方針を明確化し、相談窓口、相談体制を整備
安全運転管理	令和４年 10 月からの道路交通法改正による「事業所のアルコール検知器使用の義務化」への対応として、令和４年４月より各施設へのアルコール検知器を配備し、点検記録の保存を実施
施設管理	市への修繕要望や利用中止の措置等、適切な対応を図るとともに、ルールに基づく施設の定期点検の励行により、より高いレベルでの安全安心な施設管理を行う
人事制度	安定した組織運営体制の構築に向け、人事異動等のＣＤＰ（キャリアデベロップメントプログラム）により、各職員の能力の向上及び次世代を担う職員の育成を図る

新型コロナウイルス感染症への対応	政府・自治体から出される方針等、常に情報収集に努め、各施設と情報共有し、スピード感をもって適切な対応を図るとともに、BCP 計画に基づく職員の他施設応援体制により、施設の開館・開園の場合にも対応する
会計事務所による月次点検	より正確な会計処理等に繋げるため、会計事務所による事務局及び管理施設の月次点検等を行う。
社会貢献	高等支援学校の生徒の実習や岡山保護観察所の社会貢献活動の受け入れをし、積極的に社会に参加し自立していく人間を育成するお手伝いや社会復帰のお手伝いを実施
情報の共有化	情報の共有化を図り風通しを良くすると共に、事業に積極的に参画する環境風土を醸成
組織力の強化	技術習得の機会を増やすなど、職員の能力の向上と協会の力量を高める
職員研修会	コンプライアンスの徹底、ガバナンスの強化に向け、外部講師（公認会計士・弁護士）による研修会を継続的に実施する

イ　システム化の推進

内　容	目　的
統合システム	○年間契約物品処理 ○安全運転管理チェック ○インボイス制度対応 （ＰＯＳシステムを活用した領収書への登録番号表示等） 等を新たに追加し、業務の更なる効率化を図る
室内予約システム	利用者カードによる３施設間（百花・六番・体育室）での予約申請手続きを共通化することにより、利用者の利便性及び受付事務の簡略化を図る
電子承認システム	施設長決裁書類や、添付書類のない総務企画課決裁書類から電子承認システムによる決裁を順次導入し、業務の効率化を図るとともに、電子承認の対象範囲の拡大を図る

令和4年度　収支予算(案)

（１）令和４年度予算編成方針

指定管理期間２年目となる令和４年度は、大変厳しい予算編成となりますが、一般正味財産額の維持は中長期における財務基盤の維持・経営の安定化に繋がることから、令和４年度も**一般正味財産額増減額「±０」をベースとした予算**を編成する

（２）令和４年度予算作成ガイドライン

①新型コロナウイルス感染症の影響を考慮せず、**通常年度の施設利用での収益・費用予算を策定**

②次年度予定されている**施設環境変化（施設クローズ等）は反映**

③自主事業計画については、**新型コロナウイルス感染症の影響を考慮**

④物価変動が影響する費目（光熱水費等）は、**直近請求額等に施設環境を加味**し予算化

（３）主な費目の編成のポイント

①施設利用料

新型コロナウイルス感染症拡大防止向けた休館・キャンセル等を考慮せず予算化

②自主事業

緑化４施設横軸事業を反映した計画の立案と、新型コロナウイルス感染症を考慮した企画回数・募集人員の見直しや、職員講師・認定講師による実施等を視野に予算化

③委託費

現状維持（令和３年度当初設計額）を基本とした積算とする

※本年度と同一業務⇒令和３年度の同様の労務単価アップ額を反映し予算化

※機械保守点検等業務は４年契約を前提に積算し予算化

※低入札が連続している物件は、設計額の見直しを検討

（４）令和４年度　施設別利用料目標

□利用料（公園内行為を除く）

年度	令和4年度
施設利用	利用料目標
浦安総合公園（東地区）	49,082,000
浦安総合公園（西地区）	55,000
灘崎町総合公園	13,530,000
半田山植物園	6,699,000
六番川水の公園	10,483,000
操山公園里山センター	726,000
百間川緑地管理事務所	7,658,200
西大寺緑花公園	11,429,000
小　計	**99,662,200**
駐車場利用	利用料目標
半田山植物園駐車場	6,375,600
浦安総合公園駐車場（東）	18,040,000
浦安総合公園駐車場(西)	2,640,000
小　計	**27,055,600**
大　計	**126,717,800**

(5) 予算(案)

正味財産増減計算書	公１事業	公２事業	共通	公益目的事業合計	収益事業	法人会計	総合計	Ｒ３年度当初予算値	Ｒ３年当初予算比較
Ⅰ　一般正味財産増減の部									
１．経常増減の部									
(1)　経常収益									
緑化基運用収入	4,515			4,515			4,515	4,515	0
基本財運用収入						1,832	1,832	1,832	0
利用料 金 収入		114,522		114,522			114,522	115,505	-983
利用料金収入事業間振替	38,937	△ 38,937						0	0
自主事 業 収入		822		822			822	533	289
指定管理料収入		441,300		441,300			441,300	441,300	0
受託事 業 収入							0	0	0
負 担 金 収 入		4,000		4,000			4,000	6,880	-2,880
助成金 等 収入		0					0	0	0
雑　　収　　入	398	468		866	1	205	1,072	838	234
その他 の 収入							0	0	0
事　業　収　入					14,080		14,080	13,497	583
									0
経常収益　計	43,850	522,175		566,025	14,081	2,037	582,143	584,900	-2,757
(2)　経常費用									
事　業　費									
人件費	34,721	233,843		268,564	1,254	1,569	271,388	273,210	-1,823
助成金	1,078	0		1,078	0	0	1,078	1,488	-410
会議費	2	12		14	1	1	15	15	0
旅費交通費	843	7,227		8,069	56	56	8,182	7,815	367
通信運搬費	97	3,140		3,237	47	1	3,285	3,280	4
減価償却費	0	4,895		4,895	0	0	4,895	5,357	-462
消耗品費	7,992	20,857		28,848	1,135	3	29,987	30,483	-496
修繕費	0	6,928		6,928	0	0	6,928	7,448	-520
印刷製本費	40	1,535		1,575	0	0	1,575	2,573	-998
燃料費	0	1,993		1,993	0	0	1,993	1,713	280
光熱水費	0	56,070		56,070	780	0	56,850	62,240	-5,390
賃借料	14	788		802	1,796	7	2,605	2,561	44
保険料	157	5,250		5,407	33	29	5,469	4,576	893
諸謝金	465	1,694		2,158	1,803	91	4,053	3,935	118
リース料	276	1,548		1,824	0	0	1,824	0	1,824
委託費	0	168,100		168,100	0	0	168,100	164,000	4,100
租税公課	7	617		625	1	1	627	666	-39
負担金	124	924		1,048	47	47	1,142	1,809	-667
支払手数料	244	9,400		9,644	392	112	10,148	10,831	-683
寄附金	0	0		0	0	0	0	0	0
支援金還付額	0	900		900	0	0	900	0	900
経常費用合計	46,059	525,720		571,779	7,346	1,918	581,043	584,000	-2,957
経常損益増減額	△ 2,209	△ 3,545		△ 5,754	6,735	119	1,100	900	200
１．経常外増減の部									
(1)　経常外収益		0		0			0	0	0
(2)　経常外費用									
固定資産除却損	0	0		0	0		0	0	0
他会計振替額			3,349	3,349	△ 3,349		0	0	0
法人税・住民税等				0	1,100		1,100	900	200
当期一般正味財産増減額	△ 2,209	△ 3,545	3,349	△ 2,405	2,286	119	△ 0	-0	0

(6)財務3基準

単位：千円

１．収支相償　A(1)表　　※５０％を繰り入れ

【第一段階】	公１	公２	計
経常収益計	43,850	522,175	566,025
経常費用計	46,059	525,720	571,779
その事業に係る特定費用準備資金の当期取崩額	0	0	0
その事業に係る特定費用準備資金の当期積立額	0	0	0
第一段階判定	-2,209	-3,545	-5,754

【第二段階】	収入	費用	
第一段階の経常収益計と経常費用計	566,025	571,779	
特定の事業と関連づけられない公益目的事業に係るその他の経常収益、経常費用		0	
上記２欄の計	566,025	571,779	
公益目的事業に係る特定費用準備資金に関する調整（別表C5より） 当期取崩額：収入欄　　積立額：費用欄			
収益事業から生じた利益の繰入額	3,349	－	収入－費用
合計	569,374	571,779	-2,405

２．公益目的事業費比率

公１、公２ 経常費用計	571,779	
総合計	581,043	
比率	98.4%	適合（50%以上）

３．遊休財産額保有制限

※令和２年実績額

保有上限額	575,433	
遊休財産額	228,259	適合